

保育の實際

東京女高師幼稚園

及川ふみ

保育要領によつて新しい保育の指針は示されました。これによつて私共保育の實際にあたるものは保育の根本精神は一通りつかむことが出来たわけでありませう。これによつて日々の幼児の生活の指導を如何にするかという、ごくごく具體的な詳細な保育案は自分たち自ら案出しなければなりません。幼稚園或は保育園の環境、幼児の家庭の環境、幼稚園の設備（保育室、遊園の廣さ、遊具其の他の設備）、幼児一組の數など現在の環境は保育案をたてるための一つの大きな條件になつてくるものであります。

次に季節（自然の環境）春夏秋冬の自然の變化に充分そくしなればならない。又、年中行事、社會的の行事、ならびに幼稚園或は保育園の行事は實際の保育の上に密接な關係をつけたいものであります。

今かりに

幼児數一組 三五名。

保育室の廣さ 二〇坪位。

幼児用机 八人位一グループに出来る机八つ（一グループに二つ）

幼児用椅子 三五

幼児用銘々 たんす 三五人分

黑板 一面（幼児が大きな繪をかくために）ピアノ 或はオルガ
ン。

保育材料入戸棚。

裝飾用鑑賞用の額 二面。

保育用材料粘土、積木（箱積木、床上積木、普通の机上の小積木）
繪本、おままごと道具、冊用紙、ボール紙、色模造紙の類。

保育用具クレオン、鉄。（幼児銘々に）

簡易大工道具 鋸、金づちなど數組園庭の設備 砂場、ぶらん
こ、すべり臺、花壇、全園の幼児數一〇〇人前後として三組。

先生の數は多きほどのぞましい事であるが最少組四人。

という程度の幼稚園をあたまに入れて、幼児たちの一日の
幼稚園の生活を考えて見ましよう。

幼児たちは母親或は其他の家人につれられてくるもの、近
くの友達と一緒に、或は一人でという様に三々五々うれしそ
うに登園して来る。

朝のあいさつ。

幼児の顔を見たときすぐにお互に、「お早う御座います」の言葉をかわしておじぎをすることにしましょう。この簡単なことでも習慣をつけないと容易に出来ない事もある。入園直後などにこのよき習慣をつけることを忘れてはならない。はずかしくて幼児の方で云い出せないで顔ばかりじろりと見ているやうな人には先生の方で先きにあいさつをするのもこの習慣をつける一つの方法でありましょう。

朝の健康調べ。

幼稚園の入口近くに衛生室でもあつて、そこに養護看護婦さんが待つていて、ぼつぼつ登園して来る幼児の一人づつについて、健康の状態が調べられれば一番理想的であるが、多くの幼稚園の現在ではそれは望めない事であるから、受持の先生がこのやく割もする事である。一人々々お部屋に入つて来た幼児の様子をよく傍診する事である。顔色、眼の様子、元氣の状態などふだんと變りはないかという點。

その他、染性の病氣などで永くやすんでいて始めて来たときなどそれが完全に治つて來ているかどうかということ、或は百日咳、水痘などの初期を早くみつつけて他の幼児に傳染を防ぐことなど一日の最始の仕事として極めて大切なことでもあります。

整容。

これは健康調べと同時に出来ることであつて、爪がながくのびていたり、お鼻を出していたり、髪がみだれていたりしないかなど一般の整容或は服装が自由に活發に運動するのに

工合が悪くないかなど注意する。(この時幼児自身で出来る事は勿論させるのであるが)

自由遊び。

幼児の幼稚園の生活の中の生命ともいふべき部門である。この自由遊びの誘導が充分に出來ているかどうかという事が保育の巧拙ということになつてくるのでありましょう。

豊かに用意された資材。臨機應變に指導されてゆく先生の態度等によつて、思う存分の活發な自由遊びが出来るわけである。保育室内で個々に各自が好きな繪をかくもの、又數人一グループを作つて共同製作に餘念のないもの、粘土、積木、繪本と各自にすぎずきな遊びが展開されてゆくの自然の形であるのであるが、従來の幼稚園の型とでもいふべきものを多少わかつている保護者の方では、保育室内では何か一齊に幼児が受身の立場におかれていたときに幼稚園での保育を受けているやうな心持ちがすることなどもあるので、これ等の新しい保育の精神をよく會得する機會をP・T・Aの會のときなど話あつて、幼稚園保育を理解すると同時に大いに努力してもらふ様になりたいためでもあります。

保育室内だけの遊びが保育する機會でなく、幼稚園の生活全體即ち遊戯でも又遊戯室でも、又他の組の保育室でも幼児のゆくとくところへ遊ぶところが最も自然の形でよく製作への誘導の道となるのであります。

たゞ年少兒は入園の始は、家庭の生活と幼稚園の生活とは

異なる點も多く、又友達とのなじみもないので自然の形で遊びに入ることが出来ないような場合には、年長組の幼児の遊ぶ様子などを見たり、或は一緒に遊んでもらつたりして幼稚園生活になれさせることも一つの方法でありましょう。

又先生が遊びを誘導する事も年少組では度々あつてよい。簡単なおもちゃを作つて見たり、お話をしたり、お遊戯をしたり、歌をうたつたりという工合に幼稚園の遊びが面白く愉快なものであるを感じさせるのである。しかしこれほどまでも幼児自身の遊びの活動を目的としたある短い時期に方便としてあつて、一日も早く幼児自身で活發に遊びに入れる様にのぞむものである事は云うまでもない事でありましょう。

晝食とその後。

面白い遊びも一段落をつけて、あるものはお晝食の支度の手傳をする。お机をふき、お盆を配り、など幼児たちに出来ることは當番制にでもして手傳をさせる。又一般のものは遊び道具をあらまし片づけ、手をよくあらひ、楽しい食事をはじめる事になりませう。食事中の作法なども、その折々に靜かに指導する事は大切である事は云うまでもありません。食後はしばらくの間は靜かな遊びをする事に習慣つけたいものであります。お話を聞いたり、繪本を見たりすることなど指導するものが細かい心づかいによつてよき習慣をつけられるものでありませう。午後又一しきり自由遊びが室の内外で盛に行はれる事でありませう。豫定通りの一日の遊びが終つて、

砂場の遊び道具、おままと道具の片付け、或は保育室内の繪本、積木の整理など幼児らしいそれぞれ受けもちもあつて一わたり整頓が出来ることとなります。お歸りには一緒に集つて、別れのあいさつをする。整容、用便、などの時間も充分にとつて、それぞれ歸宅するのであります。

お歸りの後。

さて幼稚園の先生は一日の保育を終つて、室の内外の片づけ、掃除の後、明日の保育の支度など幼児を家庭へ送りかえた後も次々と仕事が澤山にあるわけでありませうが、とりわけ幼児の一人一人の觀察記録といふ大切なこともその時の一つの仕事でありませう。

幼児の自然の生活の流れのままに保育してゆくときに、先生は個々の幼児の生活觀察ということが大切なことであります。幼児一人一人が思うままに生活しているうちにその觀察記録によつて、これらのその幼児の遊びの指導のヒントを得なければならぬのでありませう。新しい保育において幼児の遊びの資材を豊かに整えて、明日の保育の準備をすると同時に、その日／＼の各幼児の生活觀察記録というものが、如何に役立つものであるかという事は忘れてはならないのであります。

新保育の精神は知識として獲得していても環境、設備、幼児數、先生の數、など諸種の條件にわざわざいされて思うまゝに自然の形で指導の出来ない場合は毎日の(二三頁へ)

- (11) 「女四藝藝文園會」風天保六年版廿七丁ウ。「女孝經」は嘉永寛政等に我が國に翻刻せられた。「女訓孝經」も亦「女孝經」の事である。
- (12) 「和俗童子訓」卷之三隨_レ年_ニ教法。「貞原篤信家訓」には、「六歳の正月、始めて彼の名と、我邦の假名を習はしむべし。」とゆう。
- (13) 「安齋隨筆」(東京大學圖書館藏寫本による)
- (14) 「先哲叢傳」
- (15) 「うひ山ふみ」
- (16) 「森山孝盛著、上、(東京大學圖書館藏寫本一丁目裏による。)
- (17) 卷之一幼學天明三年版
- (18) 「迂言」學制(日本經濟大典第四十五卷)
- (19) 同右
- (20) 初篇朱嘉朱註の條
- (21) 「讀近世授話」卷之一、弘化二年版十一丁ウ
- (22) 「懷舊樓筆」
- (23) 卷三隨_レ年_ニ教法安永二年版
- (24) 前出

日本幼稚園
協會 協働例

夏期保育講習會

期日。七月二十一日から同二十五日まで

會場。東京女子高等師範學校講堂
 東京都文京區(小石川區)大塚町。都電大塚仲町停留場
 當日會場へ直接出席もお迎えします(會費金貳百圓)

(二六頁から)

保育の中に度々あることであります。しかし、先生方のお互の協力、たとえば隣室の先生とのお互の協力によつて家庭における幼児の指導を一緒に依頼して保育の小分團を作る事、或は人形芝居、繪ばなし、遊戯など二三組一緒にしてもらつてゐる間に特種な小グループを作るなどという様にいろいろ少人數の指導の機會をつくり、或は幼児自身で積極的に自發的に遊ばし習慣をつけるなどいろいろ工夫して、幼児一人一人の眞の活動を少しでも豊かにする機會をつくる事が最も必要なことでありましよう。

新保育に環境といふことが一つの大きな條件になつておりますが、保育指導者はこのよき環境をつくる事の巧拙が毎日の保育の指導の巧拙になつてくるのでありましよう。

新保育によつて、幼児たちの創意工夫を求めめる前に、保育者自らもすでに與えられたる環境を出來るだけ新保育の上に活用するだけの創意工夫にまつところが多いことでありましよう。